

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	歩道等整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	永末 昇			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	歩道等総合整備計画に基づく対策のより効果的な推進。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	歩道等総合整備計画に基づく対策のより効果的な推進。
②①に基づく取り組み結果	歩道等総合整備計画に基づく事業を関係各課と連携し着実に推進した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	歩行者と車両の動線が輻輳している箇所	意図(対象をどうするのか)	交通事故の減少
②事務事業の概要	歩道等総合整備計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯、ガードレール、道路反射鏡、道路標識等の交通安全施設の整備を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民意識調査にて、交通安全対策への不満足度は40%、重要度は82.8%と市民の関心は高い状態にあるが、市内の人身事故は減少傾向にある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	道路反射鏡15基、道路区画線4.3km、交通立看板25基、滑り止め舗装45.9㎡						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	299	255	248	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	3.2	2.6	2.7	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	14,848	12,495	金額(千円)	内容	15,279		
国支出金(千円)	0	0	324	交通立看板製作委託	0		
県支出金(千円)	0	0	12,171	歩道等整備工事	0		
市債その他(千円)	0	0			0		
一般財源(千円)	14,848	12,495			15,279		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	歩道設置には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	道路の機能管理面から安全確保をする責務があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備	平成30年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備	12,500	12,500	当初	12,500	12,495	H29からの繰越	0
				H29⇒30繰越	0		現年分	12,495
				補正	0			
③達成状況	完了			流用・充当	0			
④未完了・非着手の理由		令和元年度への繰越額(単位:千円)					0	

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	交通安全施設更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	永末 昇			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市の点検方法の制定。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	道路照明灯のLED化の推進
②①に基づく取り組み結果	国基準等の情報収集を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	道路照明灯、道路反射鏡等の安全施設	意図(対象をどうするのか)	更新を行い、全ての人々が安心して、道路を通行できるようにする。
②事務事業の概要	経年劣化により老朽化した各種安全施設(道路照明灯、道路反射鏡等)の更新を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化される等、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	道路照明灯更新0基、道路反射鏡更新2基						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	299	255	248	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	3.2	2.6	2.7	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	4,428	238	金額(千円)	内容	2,600		
国支出金(千円)	0	0	238	交通安全施設更新工事	0		
県支出金(千円)	0	0			0		
市債その他(千円)	0	0			0		
一般財源(千円)	4,428	238			2,600		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望やパトロールにより随時行う補修、更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型への維持管理への対応。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	道路照明等更新工事	平成30年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路照明等更新工事	2,500	842	当初	2,500	238	H29からの繰越	0
				H29⇒30繰越	0		現年分	238
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1,658			
		令和元年度への繰越額(単位:千円)				0		